Panasonic®

取扱説明書

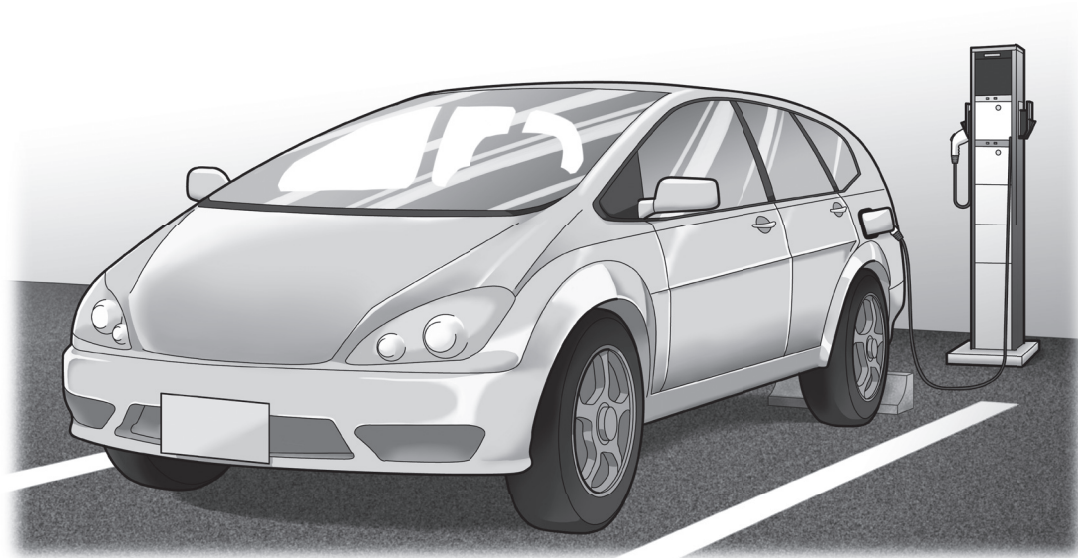
EV・PHEV充電用 充電スタンド

品番 DNE3000
DNE3300

EV・PHEV充電用 充電スタンド

エルシーヴ

ELSEEV

パブリックエリア向け Mode3

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に**「安全上のご注意」（4～5ページ）を必ずお読みください。**

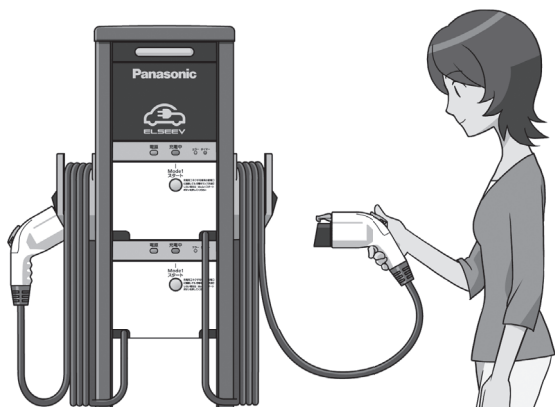
施工説明書、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書の内容を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無料修理の対象外となります。

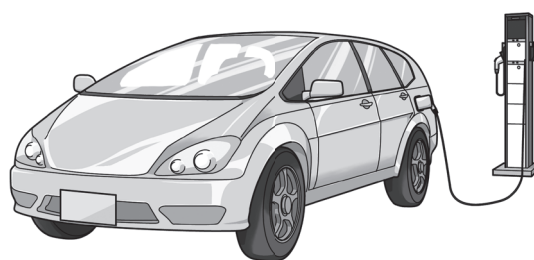
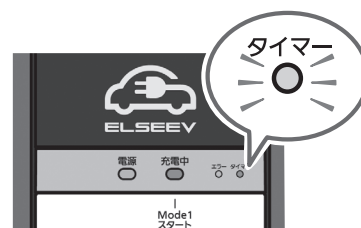
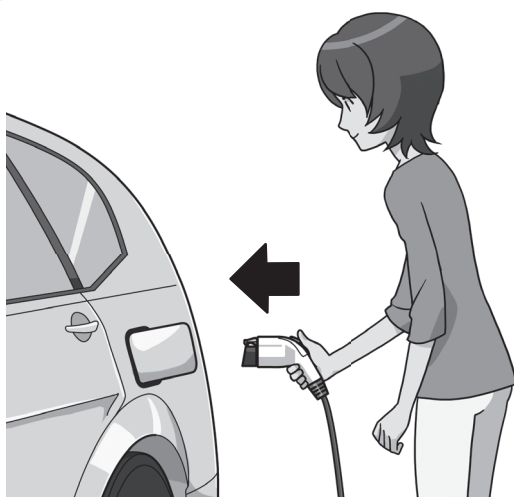
目的にあわせてすばやく探す

ご使用の流れ

安全で快適にお使いいただくために

詳しくはそれぞれの説明ページをお読みください。

1 準備する　8ページ

LED表示で通電を確認する
▼
充電コネクタ用ホルダの鍵を開ける
▼
充電用コネクタを取り外す
▼
巻き付けてある充電ケーブルを取り外す

3 充電中　10ページ

事前に充電タイマーを設定することで充電時間を設定することができます。
設定方法は12～14ページをお読みください。

2 接続する　9ページ

充電用コネクタを車両の給電口に差し込む
▼
「ガチャ」と音がして、ロックがかかったことを確認する
▼
LED表示で充電が開始されたか確認する

4 片付ける　11ページ

充電用コネクタを車両から取り外す
▼
充電ケーブルを充電コネクタ用ホルダに巻き付ける
▼
充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに戻す
▼
「ガチャ」と音がして、ロックがかかっていることを確認する
▼
充電コネクタ用ホルダの鍵を閉める

故障かな? 20ページ

●電源LEDが点灯しない

●位置表示灯の点灯・消灯のタイミングがおかしくなった

もくじ

ご使用の前に必ずお読みください。

はじめに

充電方法

充電設定の変更

確認・操作

お手入れと点検

故障かな？

安全上のご注意 必ずお守りください

お願い

当社では品質、信頼性の向上に努めていますが、一般的に金属製品は使用年月とともにさびなどの腐食が発生し、最終的に継続的使用が困難な状態（寿命）が生じます。

また充電用コネクタについても一般的に抜き挿し回数によって継続的使用が困難な状態（寿命）が発生します。
本製品も同様に使用条件、使用場所で異なりますが、本体については建柱後10年程度経過すると劣化が進みますので、更に長くご使用いただくためお客様ご自身で定期点検表の点検頻度に基づき必ず定期的に点検してください。

また、充電ケーブルは3年に1回程度、充電ケーブルユニットは9年に1回程度交換してください。

異常や不具合がありましたら、施工工事店までご連絡ください。

本製品はお客様の大切な財産です。確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

●万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

■使用時のご注意

警告

感電、火災、やけど、けが、破損などを防ぐために

禁止

●ぬれた手で充電用コネクタを触らない
●製品の分解･改造は行わない
●充電用コネクタを水につけない
●電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しない
●定格容量（200 V/20 A）を超えて使用しない
●可燃性ガスや引火物の近くで使用しない
●製品を布や布団、服などで覆わない
●幼児や子供には触らせない
●充電コネクタ用ホルダに充電ケーブルを巻き付けたまま充電しない
●充電中以外は車両に充電用コネクタを差し込んだまま放置しない
●漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない
●植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器（ICD）をお使いの方は、充電中は密着するような姿勢はとらない
充電器本体からの電波が作動に影響を与えるおそれがあります。

必ず守る

●充電用コネクタや充電ケーブルに割れ・欠けなどの異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
施工工事店までご連絡ください。
●異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
施工工事店までご連絡ください。
●雨の日に使用する場合は、充電用コネクタの電極部に水がかからないように使用する
●充電用コネクタは確実に奥まで差し込む
●使用後は充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに戻す
●充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する
（電極部にはかからないようにしてください）
●充電電流設定をするときは、電源線や漏電ブレーカの許容電流を超えない値に設定する

⚠注意

禁止

- 製品の上に乗ったり、もたれかからない
- 充電用コネクタに、落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えない
- 充電ケーブルを、人や車両などで踏みつけない
- 充電用コネクタを抜くときは、強引に引っ張らない
- 充電ケーブルにぶら下がったり、引っ張ったりしない
- 充電用コネクタを振り回さない
- 製品に殺虫剤をかけない

必ず守る

- 充電作業は車両側の取扱説明書に従って作業する
  車両側の機器が故障する原因となります。
- 使用を終了した製品は、万一の場合の倒壊防止のため、放置せずに撤去する
- 充電用コネクタはロック解除ボタンを押してから抜く
- 充電ケーブルは、地面に触れないように巻き付ける
- 充電ケーブルは、推奨巻き回数になるように巻き付ける
  （約4巻き　1巻き:約1.5m～2m）

■保守・点検時のご注意

⚠警告

禁止

- 製品に水をかけて清掃しない
- 製品に有機溶剤（ベンジンなど）や家庭用洗剤などをかけて清掃しない
- 施工工事店以外は、取付・交換作業を行わない

必ず守る

- お手入れ･点検の際は必ずブレーカを「切」にする
- 定期点検表（19ページ）に基づき点検頻度を守って必ず定期的に点検し、異常や不具合があれば施工工事店に連絡する
- 点検の結果、異常や不具合が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する
  施工工事店までご連絡ください。

⚠注意

禁止

- 絶縁抵抗計（メガー）を使用しない
  絶縁抵抗を計測する場合は、施工工事店へご依頼ください。

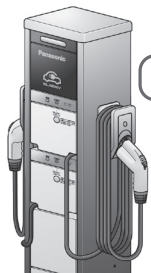
～施工工事店様へ～
極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となりますので、極間では使用しないでください。

必ず守る

- 動物などの排泄物が付着することが考えられる場合は、点検頻度を短くし、安全確認を行う
- 地際部には植栽などの土がかからないように管理する
  さびなどの腐食が促進され、製品倒壊の原因となります。
- 製品にさびが発生した場合、必ず早期に補修する

- 本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。
- 夏場など直射日光が強い場所で使用する場合は、金属表面温度が高くなるおそれがありますので、特にご注意ください。
- 充電用コネクタが汚れていたり、充電用コネクタに水分が付着している場合は乾いた布でふき取ってからご使用ください。
- 充電ケーブルユニットおよび漏電ブレーカが冠水した場合、充電ケーブルユニットおよび漏電ブレーカを交換してください。
- 積雪時は適切に除雪してください。
- 清掃方法については「お手入れと点検」（17ページ）をご確認ください。
- 表面が汚れたら、よく絞った布やぞうきんなどやわらかいものでふいてください。
- 長期間使用しないときは、節電のため漏電ブレーカを「切」にしてください。

各部の名前

品番：DNE3000

品番：DNE3300

「DNE3000」と「DNE3300」の2タイプがあります。
本説明書では「DNE3300」の図を用いて説明をしております。

充電スタンド本体

位置表示灯（青）
充電ケーブルユニット
充電コネクタ用ホルダ
充電用コネクタ
充電ケーブル
取付ベース（地際部）
固定ボルト

《正面》

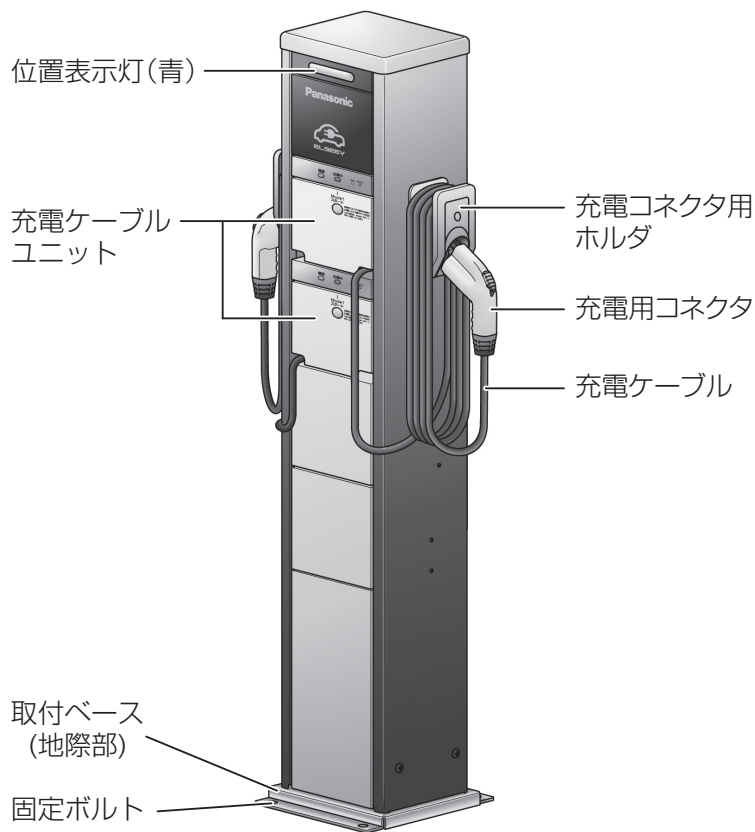
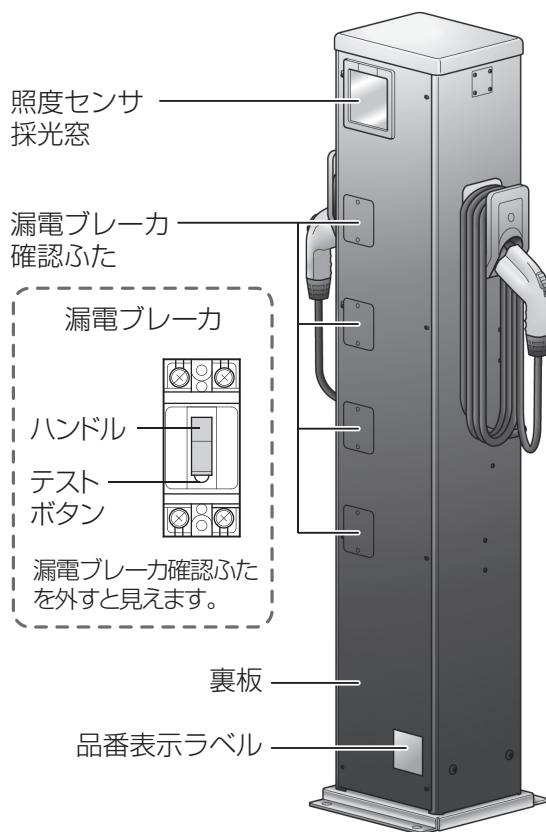
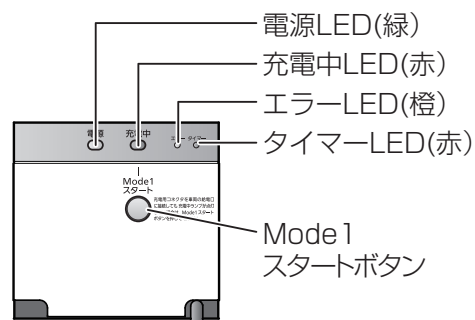
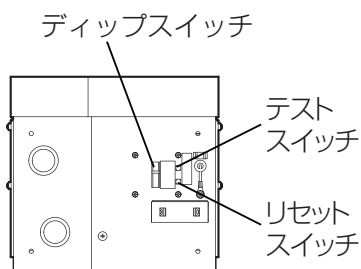
照度センサ採光窓
漏電ブレーカ確認ふた

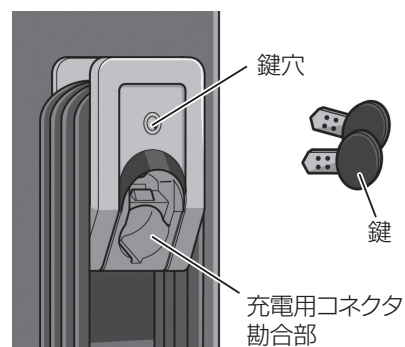
漏電ブレーカ
ハンドル
テストボタン
漏電ブレーカ確認ふたを外すと見えます。

裏板
品番表示ラベル

《背面》

充電ケーブルユニット

電源LED(緑)
充電中LED(赤)
エラーLED(橙)
タイマーLED(赤)
Mode1スタートボタン

《正面》

《背面》

充電コネクタ用ホルダ

LEDの状態表示・スイッチの機能

ご使用前に通電確認のため電源LED（緑）が点灯していることを確認してください。
その他のLED 表示は以下のとおりです。正常に点灯していない場合は「故障かな？」(20ページ) を
ご参照ください。

位置表示灯（青）

周囲が暗くなると自動的に点灯し、明るくなると消灯します。

ご注意

- **点灯時および消灯時の周囲照度は立地環境の影響を受けバラツキが生じます。**
- **充電スタンド背面には、照度センサ採光窓がありますので、充電スタンド本体の背面を日陰などの暗くなる場所に設置すると、周囲が明るいときでも位置表示灯が点灯する場合があります。**

Mode1スタートボタン

Mode1車両への充電時、車両に充電用コネクタを接続してからMode1スタートボタンを押すと、充電が始まります。

ご注意

- **充電モード設定で、Mode3車両専用に設定している時は、Mode1スタートボタンを押しても、Mode1車両の充電はできません。（12ページ）**

電源LED（緑）

充電ケーブルユニットに電源が供給されている時に点灯します。
無通電状態では消灯します。

エラーLED（橙）

異常発生時に点灯します。（21ページ）
正常に動作している時は、消灯します。

充電中LED（赤）

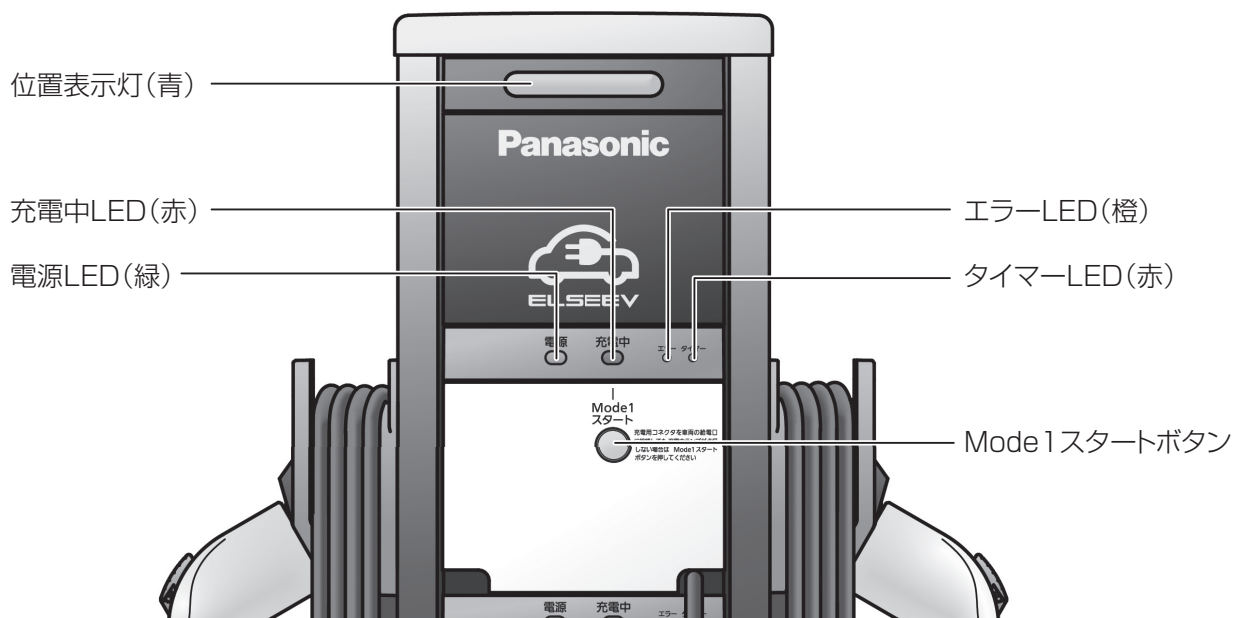
充電中に点灯します。
異常発生時には、点滅します。（21ページ）
充電していない時や、異常発生していない時は、消灯します。

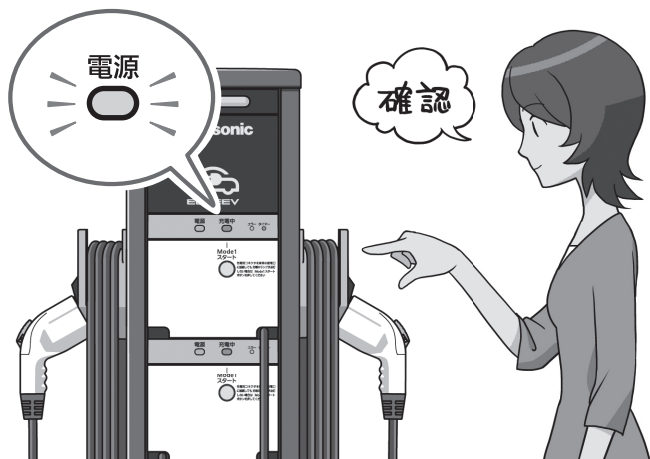
ご注意

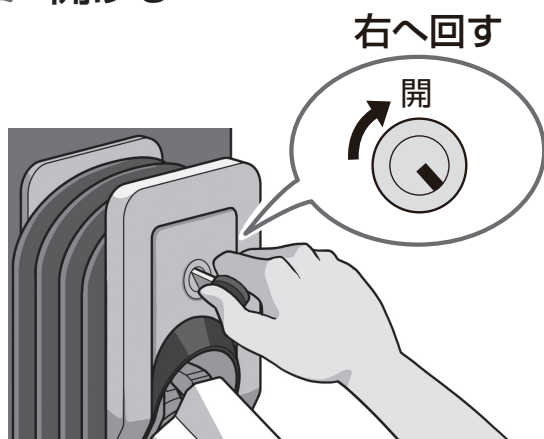
- **Mode1車両は、充電が完了しても充電中LED（赤）は消灯しません。充電完了の確認は必ず車両側で行ってください。**

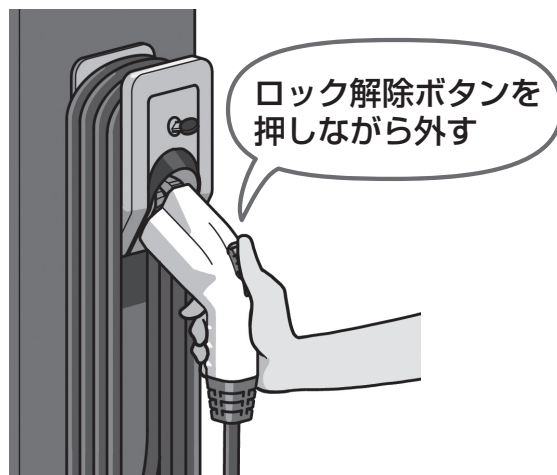
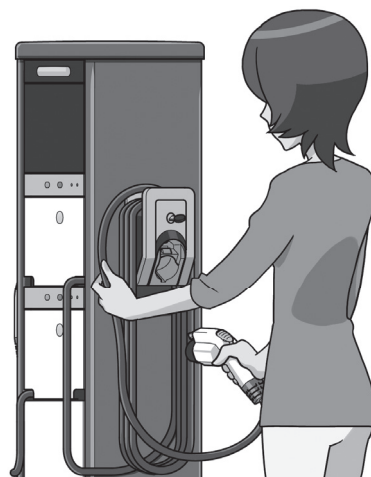
タイマーLED（赤）

充電タイマーが設定されている場合、充電中はタイマーLED（赤）が点灯します。
充電終了までの残り時間が10分以下になると点滅します。（10ページ）
充電していない時や、充電タイマー設定が「連続」になっているときは、消灯します。

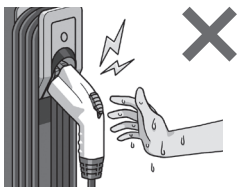
充電方法 ❶

準備する

1 LED表示で通電を確認する

LED表示状態については7ページをお読みください。

2 充電コネクタ用ホルダの鍵を開ける

鍵は施錠している時のみ、抜くことができます。

3 充電用コネクタを取り外す

4 巻き付けてある充電ケーブルを取り外す

⚠警告

禁止

●ぬれた手で充電用コネクタを触らない

感電の原因となります。

必ず守る

●雨の日に使用する場合は、充電用コネクタの電極部に水がかからないように使用する

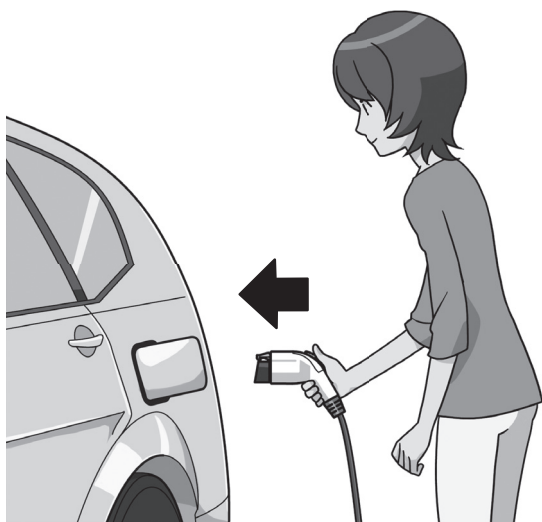
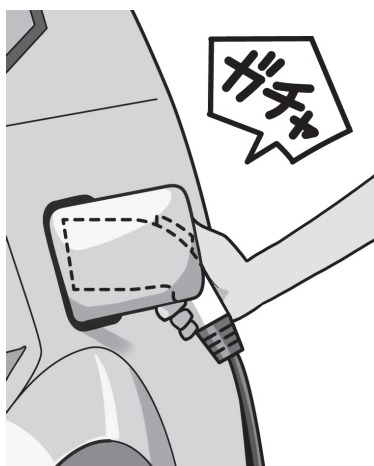
感電の原因となります。

●充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する（電極部にはかからないようにしてください）

火災·感電や故障の原因となります。

●車両側の充電開始･終了作業については、車両側の取扱説明書に従って作業してください。
●LED 動作に異常がある場合は、施工工事店までご連絡ください。

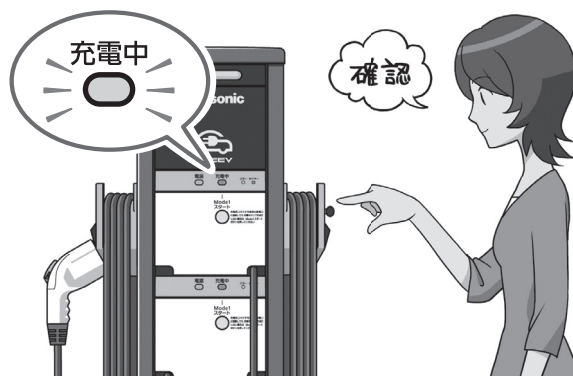
接続する

1 充電用コネクタを車両の給電口に差し込む

2 「ガチャ」と音がして、ロックがかかったことを確認する

⚠警告

必ず守る

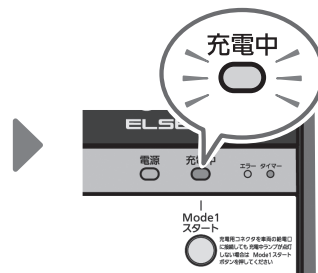
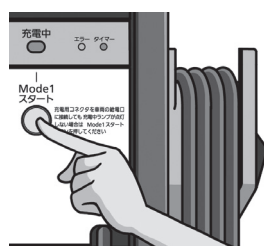
●**充電用コネクタは確実に奥まで差し込む**

発熱･火災の原因となります。

3 LED表示で充電が開始されたか確認し、鍵を抜く

鍵は施錠している時のみ、抜くことができます。

Q 充電中LEDが点灯しない

A Mode1車両の場合、Mode1スタートボタンを押してください

1. Mode1スタートボタンを押す。
2. 充電中LED（赤）が点灯し、充電が開始されたか確認する。

●充電モード設定で、Mode3車両専用に設定している時は、Mode1スタートボタンを押しても、Mode1車両の充電はできません。（12ページ）

●Mode1車両を充電したい場合は、充電モード設定を【Mode1/3車両共用】または【Mode1車両専用】に設定する必要があります。

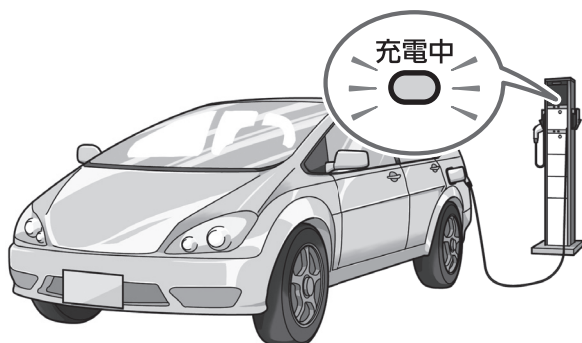
充電モード設定の変更方法は12～14ページをお読みください。

●瞬時停電が発生すると、安全性を保つため充電が停止する場合があります。
Mode1車両接続時は自動復帰しないため、再度充電を開始する場合は、Mode1スタートボタンを押してください。

●車種によっては、充電できない場合があります。

●設定を変更しても、充電中LEDが点灯しない場合は、「故障かな?」（20ページ）をご確認ください。

充電方法 ②

充電中

充電タイマーを設定している場合

充電タイマーの設定方法は12～14ページをお読みください。

充電中はタイマーLED（赤）が点灯します。

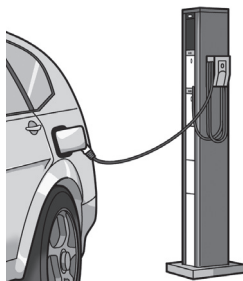
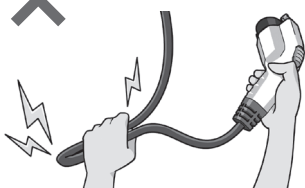
充電していないときや、充電タイマー設定が「連続」になっているときは、消灯します。

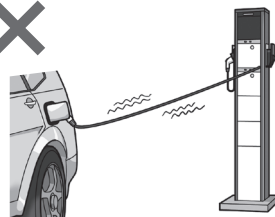
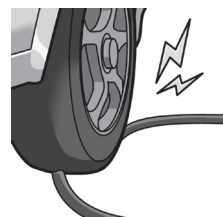
充電終了までの残り時間が10分以下になると点滅します。

残り時間が10分～5分	残り時間が5分未満
10秒間 / 消灯 点灯	10秒間 / 消灯 点灯
1秒間OFF / 2秒間ONの点滅繰り返し	1秒間OFF / 1秒間ONの点滅繰り返し

充電するときは以下のことに注意してください。

⚠警告

禁止	●コネクタホルダに充電ケーブルを巻き付けたまま充電しない 発熱・火災の原因となります。

充電用コネクタに落下や踏みつけなどの強い衝撃を与えないようにする

充電ケーブルは無理に曲げないようにする

充電ケーブルで足を引っかけないように注意する

充電ケーブルは十分な余裕を持たせた状態で接続する

充電ケーブルは、人や車両などで踏まれないようにする

片付ける

1 充電用コネクタを車両から取り外す

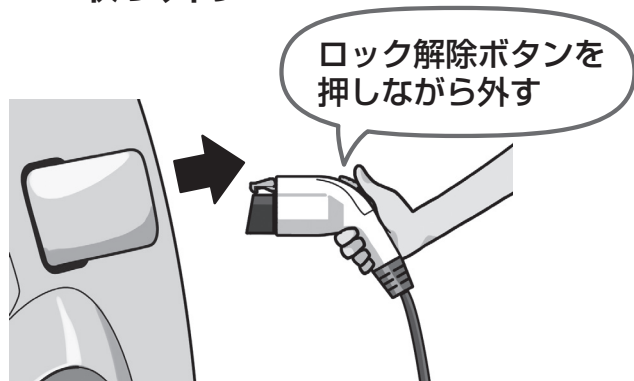
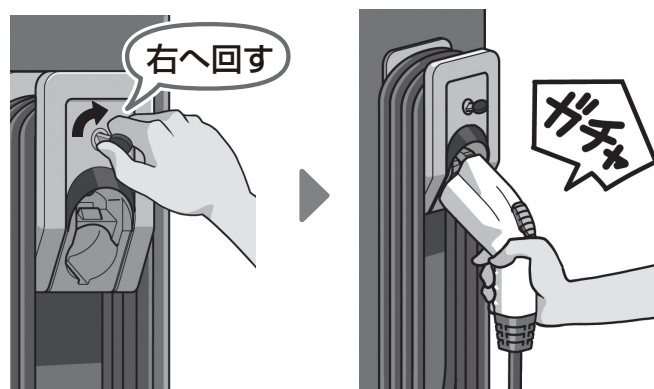
2 充電ケーブルを充電コネクタ用ホルダに巻き付ける

⚠注意

必ず守る

- **充電ケーブルは、地面に触れないように巻き付ける**

  足の引っ掛けや充電ケーブルが傷つく原因となります。
- **充電ケーブルは、推奨巻き回数になるように巻き付ける（約4巻き　1巻き：約1.5m～2m）**

  推奨巻き回数を超えて巻き付けると、充電ケーブルが屈曲して、被覆が破れたり断線するおそれがあります。感電･発火の原因となります。

3 充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに戻す

鍵を開けてから、充電用コネクタを戻してください。

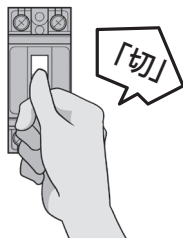
4 「ガチャ」と音がして、ロックがかかっていることを確認する

5 充電コネクタ用ホルダの鍵を閉める

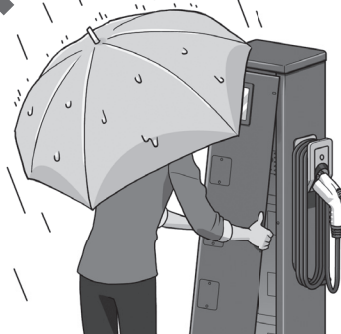
充電設定の変更 ❶

⚠警告

必ず守る

●**裏板を開け、ディップスイッチを操作する場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する**

感電の原因となります。

●**充電電流設定をするときは、電源線や漏電ブレーカの許容電流を超えない値に設定する**

発熱･発火の原因となります。

雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業する

■充電ケーブルユニットでは、下記のような設定ができます。（設定方法は、14ページ参照）

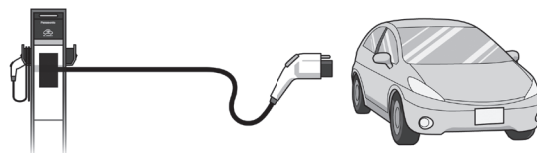
設定内容	内容説明	設定可能範囲
充電モード設定	**充電できる車両（充電モード）を設定します。※1** 充電する車両の充電モードが分からない場合は、①Mode1/3車両共用の設定をお勧めします。	①Mode1/3車両共用（初期設定） ②Mode3車両専用 ③Mode1車両専用
充電電流設定	**充電時の最大許容電流値を設定します。** 車両は最大許容電流値範囲内で充電を行います。 常に最大許容電流値で充電を行うわけではありません。一般的に最大許容電流値の設定値が大きいほど、充電容量が大きくなるため、満充電までの時間が短くなります。最大許容電流値の設定が有効にならなかったり、設定値を小さくすると充電が開始しない車種があります。特別なことがない場合は、初期設定のままとしてください。	① 6A ② 8A ③10A ④12A ⑤14A ⑥16A（初期設定） ⑦18A ⑧20A
充電タイマー設定	**充電時間を設定します。** 充電開始から設定された時間が経過すると、自動的に給電が止まります。「連続充電」の場合、満充電まで充電します。	① 30分 ②45分 ③60分 ④ 75分 ⑤90分 ⑥105分 ⑦120分 ⑧連続充電（初期設定）

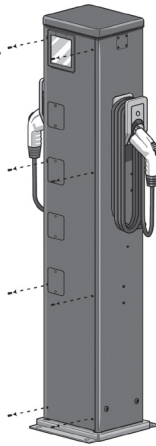
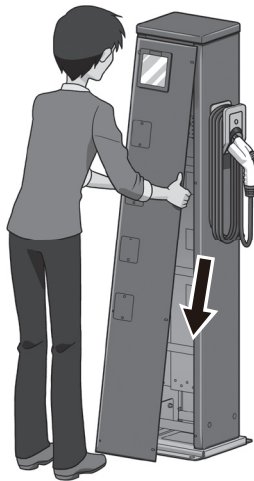
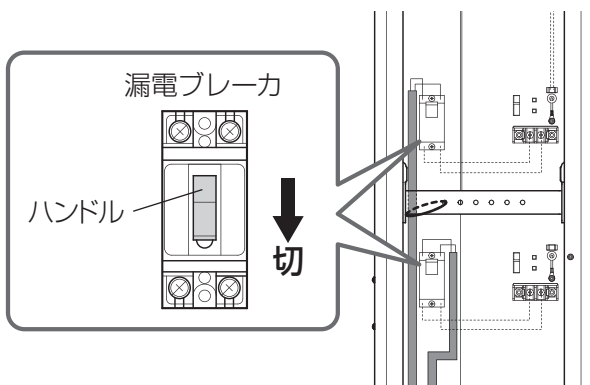
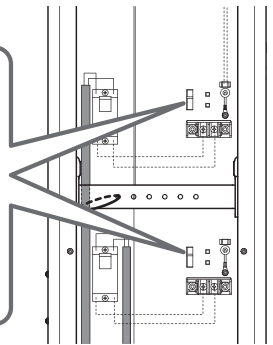
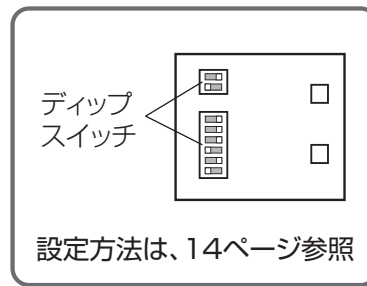
※1 設定できる充電モードは以下の2種類です。（国際規格IEC61851-1）

Mode1

電源供給のみ（制御回路なし）

Mode3

充電スタンド側に制御回路内蔵

充電設定の変更手順

1 裏板固定ねじ（8か所）を取り外す

2 裏板を斜め下方向にずらして取り外す

3 漏電ブレーカを「切」にする

4 ディップスイッチの設定を変更する

5 漏電ブレーカを「入」にする

6 裏板を取り付け裏板固定ねじで固定する（8か所）

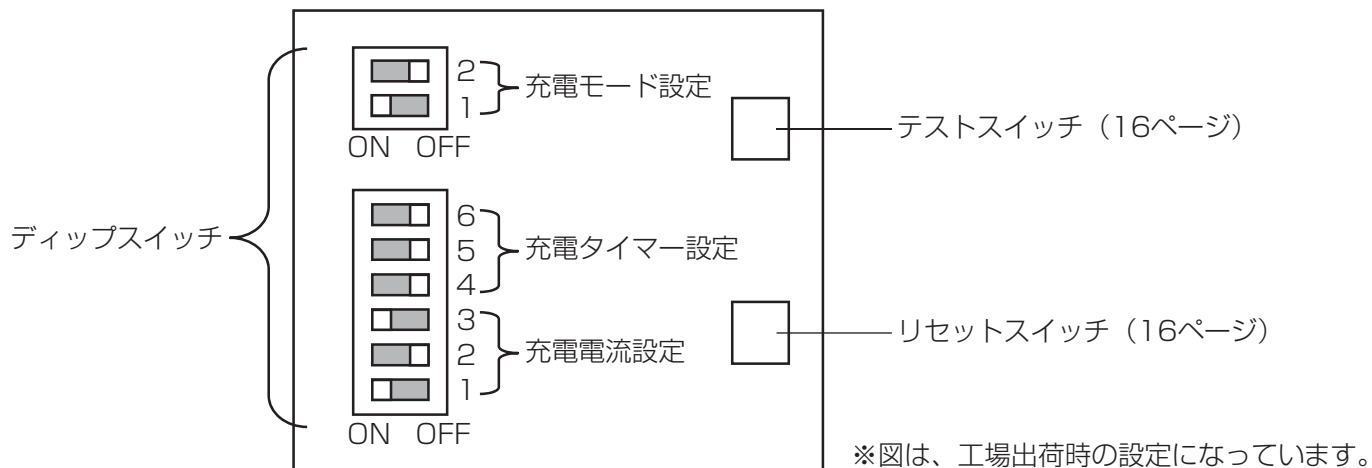
① 斜め上方向にずらして天面部にはめ込む

② 裏板固定ねじで固定する

上部左側の穴はだるま穴になっているので、充電スタンド本体にねじを取り付けてから裏板を取り付けられます。

充電設定の変更 ❷

ディップスイッチの設定

※図は、工場出荷時の設定になっています。

●充電モードの設定方法 下図のいずれかに設定してください。

①Mode1車両･Mode3車両共用（初期設定）	②Mode3車両充電専用	③Mode1車両充電専用
2 1 ON OFF ＊2は、ON/OFFどちらでも可	2 1 ON OFF	2 1 ON OFF

●充電電流の設定方法 下図のいずれかに設定してください。

①6A	②8A	③10A	④12A	⑤14A	⑥16A（初期設定）	⑦18A	⑧20A
6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF

●充電タイマーの設定方法 下図のいずれかに設定してください。

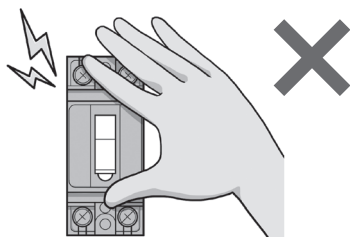
①30分	②45分	③60分	④75分	⑤90分	⑥105分	⑦120分	⑧連続充電（初期設定）
6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF	6 5 4 3 2 1 ON OFF

漏電ブレーカ 漏電保護機能 確認・操作 1

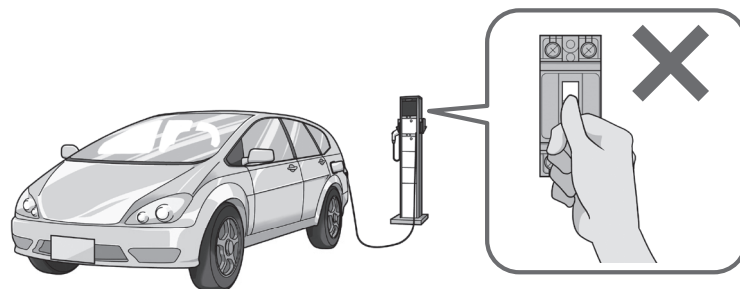
⚠ 警告

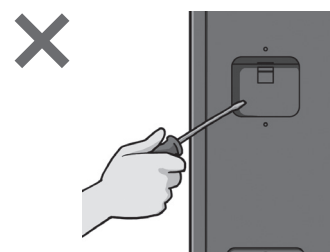
禁止

●漏電ブレーカやスイッチの確認・操作をする場合は、絶対に電極部に触れない

感電の原因となります。

必ず守る

●漏電ブレーカやLED動作に異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

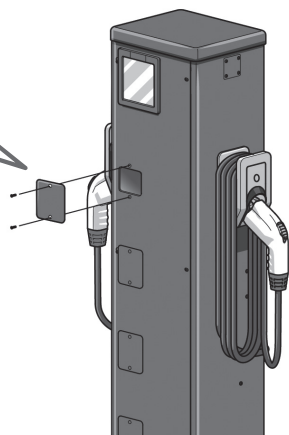
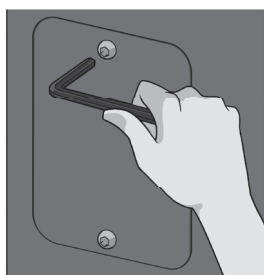
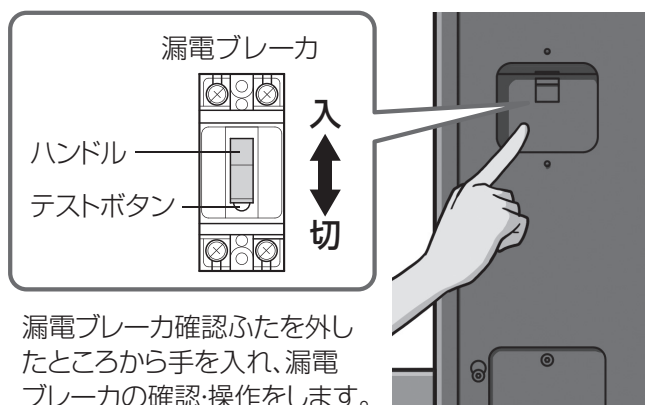
施工工事店までご連絡ください。

充電中は、漏電ブレーカやスイッチの確認・操作を行わない

雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業する

漏電ブレーカ確認ふたを外したところから、不用意に手やドライバーを挿入しない

漏電ブレーカの確認・操作方法

●定期的に「テストボタン」を押して、漏電ブレーカが正常に動作するか確認してください。

●漏電ブレーカが「切」になった時は、原因を取り除いてから「入」にしてください。
電源再投入後、即動作する時は負荷が短絡状態か、負荷回路の漏電、または機器の異常です。
施工工事店へ点検を依頼してください。

1 確認したい部位の漏電ブレーカ確認ふたを取り外す

2 漏電ブレーカの「入」「切」（または「テストボタン」）を確認・操作する

漏電ブレーカ確認ふたを外したところから手を入れ、漏電ブレーカの確認・操作をします。

3 漏電ブレーカ確認ふたを元に戻す

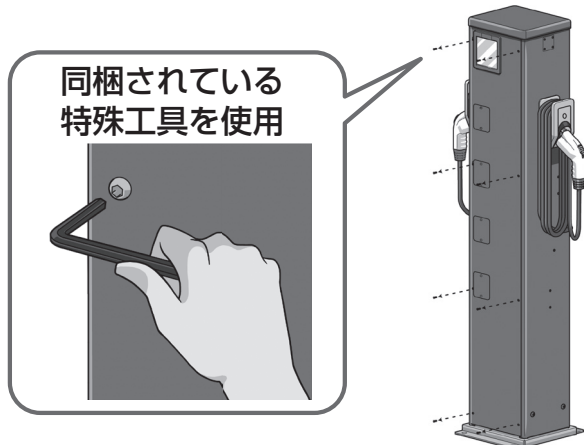
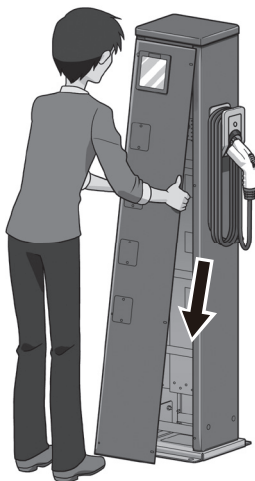
同梱されている特殊工具を使用し、漏電ブレーカ確認ふた固定ねじ(2か所)でふたを取り付ける。

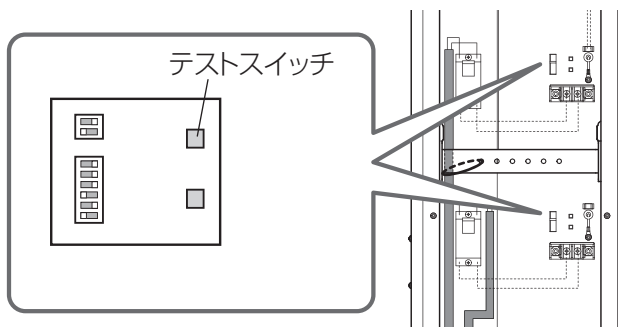
M4×10(ステンレス製)特殊ねじ 締付トルク:1.2N·m

漏電ブレーカ 漏電保護機能 確認・操作 ②

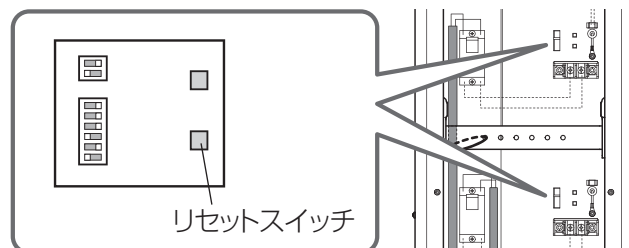
漏電保護機能の確認

●半年に1回の頻度で、「テストスイッチ」を押して、充電ケーブルユニットから車両間の漏電保護機能が正常に動作するか確認してください。

1 裏板固定ねじ(8か所)を取り外す

2 裏板を斜め下方向にずらして取り外す

3 テストスイッチを押す

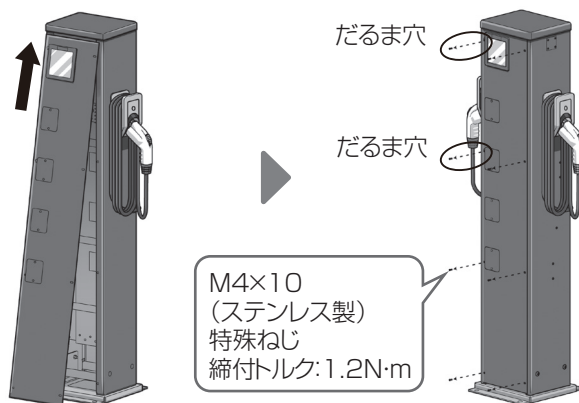
※スイッチは1秒以上押してください。

4 充電中LED(赤)が点滅し、エラーLED(橙)が点灯することを確認する

充電用LED（赤）	エラーLED（橙）
10秒間 / 点滅	エラー
10秒間に3回点滅繰り返し	点灯

5 リセットスイッチを押して、充電中LEDとエラーLEDが消灯することを確認する

スイッチは1秒以上押してください。

6 裏板を取り付け、裏板固定ねじで固定する(8か所)

① 斜め上方向にずらして天面部にはめ込む

② 裏板固定ねじで固定する

上部左側の穴はだるま穴になっているので、充電スタンド本体にねじを取り付けてから裏板を取り付けられます。

お手入れと点検 ❶

お手入れのしかた

●表面が汚れたら、よく絞った布やぞうきんなどやわらかいものでふいてください。
●積雪時は適切に除雪してください。
●充電用コネクタが汚れていたり、水分が付着している場合は乾いた布でふき取ってください。
●地際部には植栽などの土がかからないようにしてください。

⚠警告

禁止

●**製品に水をかけて清掃しない**
火災・感電や故障の原因となります。

●**製品に有機溶剤（ベンジンなど）や家庭用洗剤などをかけて清掃しない**
火災・感電や破損の原因となります。

必ず守る

●**充電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、40℃程度のお湯で解凍してから使用する（電極部にはかからないようにしてください）**
火災・感電や故障の原因となります。

日常点検

●安全にお使いいただくために、日常点検を行ってください。
●点検の結果、異常や不具合があった場合は、漏電ブレーカを「切」にして、施工工事店までご連絡ください。

【日常点検内容】点検頻度　1回 / 1日

周囲
●可燃性ガスや引火物を近くに置いていないか

本体
●布や布団、服などで覆っていないか

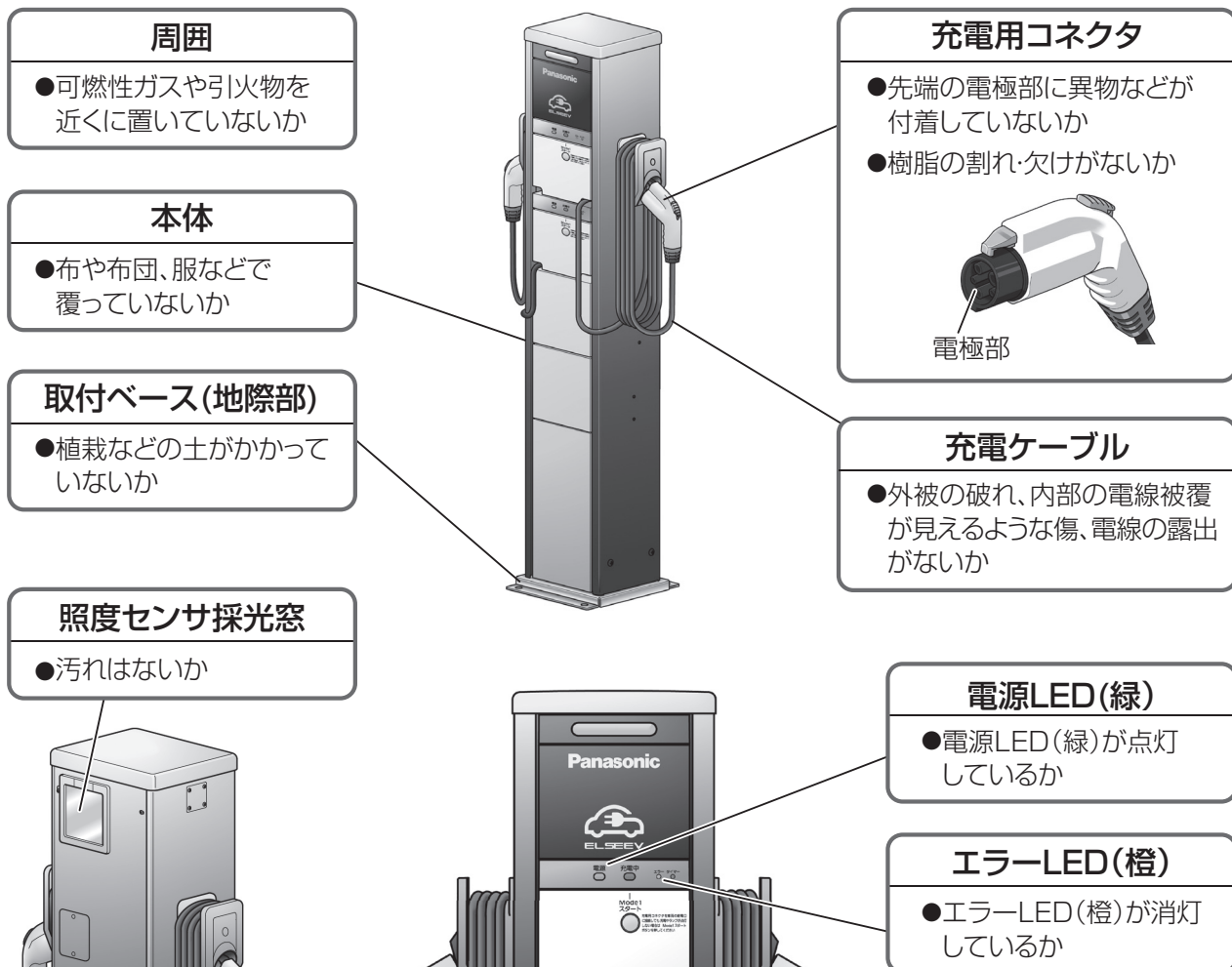
取付ベース（地際部）
●植栽などの土がかかっていないか

照度センサ採光窓
●汚れはないか

充電用コネクタ
●先端の電極部に異物などが付着していないか
●樹脂の割れ・欠けがないか

充電ケーブル
●外被の破れ、内部の電線被覆が見えるような傷、電線の露出がないか

電源LED（緑）
●電源LED（緑）が点灯しているか

エラーLED（橙）
●エラーLED（橙）が消灯しているか

お手入れと点検 ❷

定期点検

- 製品を長く･安全にお使いいただくために、定期点検を行ってください。
- 定期点検の詳細内容は、定期点検表（19ページ）に従い、実施してください。
- 塩害地･温泉地など劣化が促進される場所に設置している場合は、点検頻度を増やして（推奨：全ての項目を1回/3か月以上）、点検を実施してください。
- 下記のメンテナンススケジュールに記載している部品は、定期的に交換が必要な部品です。
- 下記のメンテナンススケジュールに記載している交換目安は、交換を推奨する時期です。
  保証期間を示すものではありません。
  使用環境によって、さらに短い期間で消耗、劣化する場合もありますので、点検リストに従い、定期点検を行ってください。
- 定期点検時は、雨水が吹き込まないように、雨天時などを避けて、作業してください。
- 点検の結果、異常や不具合があった場合や交換作業が必要な場合は、施工工事店までご連絡ください。有料で交換します。
  劣化する前に交換することをお勧めします。

⚠警告

禁止

- **漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない**

  感電の原因となります。

必ず守る

- **裏板を開け電極部の点検をする場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する**

  感電の原因となります。
- **点検の結果、異常や不具合が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する**

  施工工事店までご相談ください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュール	3年	6年	9年	12年	15年	18年	21年…
定期点検（1回／半年）	半年ごとに点検実施 ※定期点検はお客様ご自身で実施してください						
充電ケーブルの交換（3年）	交換	交換		交換	交換		交換
充電コネクタ用ホルダの交換（6年）		交換		交換		交換	
充電ケーブルユニットの交換（9年）			交換			交換	
充電スタンド本体の建替（10年～20年）			建替			建替	

※部品の交換や建替は電気工事士の有資格者が行ってください。

■建柱後10年程度経過すると劣化が進みますので、建替をご検討ください。
使用環境によって、さらに短い期間で消耗･劣化する場合もあります。
10年以上ご使用いただく場合、お客様ご自身で定期点検表に基づき、点検頻度を増やして（全ての項目を1回／月以上）点検を実施してください。

■建柱後20年以内で必ず建替えてください。

点検の結果、異常や不具合があった場合や、交換や建替が必要な場合は施工工事店までご連絡ください。

定期点検表

●本点検表を必要枚数コピーしてお使いください。
●点検個所の位置は、各部の名前(6ページ)を参照してください。

●定期点検表に点検日と点検結果を記入してください。
点検結果記入例【○:異常なし、×:異常あり】

●点検頻度　1回/半年

部位	点検個所	点検内容	異常の原因	異常時の処置	点検日 /	/	/	/	/	/
充電スタンド本体	外観	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	補修塗料による補修または充電スタンド本体の建替						
		変形や傾きがないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	取付ベース(地際部)	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	取付ベースの交換						
	固定ボルト	緩みはないか	振動による緩み	ボルトの増し締め						
漏電ブレーカ	テストボタン	テストボタンを押したとき、「切」になるか(15ページ)	内部部品の故障	漏電ブレーカの交換						
位置表示灯	外観	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	位置表示灯の交換						
		樹脂の割れ･欠けがないか	衝突や打痕などの強い衝撃							
	位置表示灯(青)	周囲が暗いときに位置表示灯LED(青)が点灯しているか	内部部品の故障							
		周囲が明るいときに位置表示灯LED(青)が消灯しているか	内部部品の故障							
充電ケーブルユニット	外観	さびやさびによる膨れはないか	傷などによるさびの進行	補修塗料による補修または充電ケーブルユニットの交換						
		傷やへこみはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	電源LED(緑)	電源が入っているときに、電源LED(緑)が点灯しているか	内部部品の故障	充電ケーブルユニットの交換						
	充電中LED(赤)	充電中に、充電中LED(赤)が点灯しているか	内部部品の故障							
	エラーLED(橙)	テストスイッチを押したときに、エラーLED(橙)が点灯するか	内部部品の故障							
	タイマーLED(赤)	充電タイマーを設定して、充電しているとき、タイマーLED(赤)が点灯しているか	内部部品の故障							
	Mode1スタートボタン	充電モード設定がMode3車両専用以外のとき、Mode1スタートボタンを押すことで、Mode1車両の充電ができるか	内部部品の故障							
	テストスイッチ	テストスイッチを押して、漏電保護機能が正常に動作するか(16ページ)	内部部品の故障							
	リセットスイッチ	テストスイッチを押した後に、リセットスイッチを押して、充電中LED(赤)とエラーLED(橙)が消灯するか(16ページ)	内部部品の故障							
充電コネクタ用ホルダ	外観	樹脂の割れ･欠けがないか	衝突や打痕などの強い衝撃	充電コネクタ用ホルダの交換						
	取付状態	変形･傾きやがたつきはないか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
	充電用コネクタ勘合部	充電用コネクタを差し込んだとき、ロックがかかるか	衝突や強い力による引っ張りなどによる変形							
日常点検項目の再確認(日常点検内容は17ページに記載しています)										

故障かな？

下記内容をご確認の上、対処方法をお試しください。
確認の結果、異常がある場合は漏電ブレーカを「切」にして、施工工事店までご連絡ください。

⚠警告

禁止

●漏電ブレーカやスイッチの確認･操作をする場合は、絶対に電極部に触れない

感電の原因となります。

必ず守る

●裏板を開け電極部の点検やディップスイッチを設定する場合は、必ず漏電ブレーカを「切」にしてから作業する

感電の原因となります。

現　象	原　因	処　置
●充電が開始しない（充電中LED（赤）が点灯しない）	漏電ブレーカが「切」になっている	漏電ブレーカを「入」にする。（15ページ）
	充電用コネクタが車両から抜けている	充電用コネクタを確実に差し込む。
	充電モード設定がMode3車両専用になっているときに、Mode1車両を接続している	充電モード設定をMode1/3車両共用またはMode1車両専用に変更する。（12～14ページ）
	充電モード設定がMode1車両専用になっているときに、Mode3車両を接続している	充電モード設定をMode1/3車両共用またはMode3車両専用に変更する。（12～14ページ）
	車両が満充電状態になっている	車両にて充電状態を確認する。
	Mode1車両を充電中に瞬時停電が発生した ※瞬時停電が発生すると､安全性を保つため充電が停止する場合があります。	Mode1スタートボタンを押す。（9ページ）
	対応していない車両を接続している ※車種によっては、充電できない場合があります。	Mode1スタートボタンを押しても、充電が開始されない場合は、施工工事店までご連絡ください。
	充電電流設定を小さい値にしている ※車種によっては、充電電流設定の値を小さくすると充電を開始しない場合があります。	充電電流設定を大きい値に変更する。（12ページ）
	内部部品が壊れている	充電ケーブルユニットを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●電源LED(緑)が点灯しない	漏電ブレーカが「切」になっている	漏電ブレーカを「入」にする。（15ページ）
	内部部品が壊れている	充電ケーブルユニットを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●充電中LED(赤)が点滅し、エラーLED(橙)が点灯している	異常が発生している	異常発生時のLED表示内容（21ページ）を確認し、異常内容を施工工事店までご連絡ください。
●タイマーLED(赤)が点灯しない	充電していない、または、充電タイマー設定が「連続」になっている。	充電タイマー設定をする場合は、変更方法（12～14ページ）に従って設定してください。
	内部部品が壊れている	充電ケーブルユニットを交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●位置表示灯(青)が点灯しない	照度センサ採光窓の周囲が明るくなっている	周囲の街灯などの影響を確認する。
	内部部品が壊れている	位置表示灯を交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。
●位置表示灯(青)が消灯しない	照度センサ採光窓の周囲が暗くなっている	照度センサ採光窓の汚れや、陰になっていないかなど周囲の影響を確認する。
	内部部品が壊れている	位置表示灯を交換する。 ※交換する場合は、施工工事店までご連絡ください。

異常発生時のLED表示内容

異常が発生すると、充電中 LED（赤）が点滅し、エラー LED（橙）が点灯します。
異常が発生した場合は、LED の表示内容をご確認の上、施工工事店までご連絡ください。

⚠ 警告

●異常が発生した場合は、漏電ブレーカを「切」にして、直ちに使用を中止する

感電の原因となります。

エラー名称	エラー内容	電源LED（緑）	充電用LED（赤）	エラーLED（橙）
漏電エラー	本体と車両との間に漏電を検知	点灯	10秒間に3回点滅繰り返し	点灯
漏電未検出エラー	漏電保護機能に異常発生	点灯	10秒間に6回点滅繰り返し	点灯
出力エラー	充電用コネクタと車両が未接続状態で、電源が出力される	点灯	10秒間に1回点滅繰り返し	点灯
非出力エラー	充電用コネクタと車両が接続状態で、電源が出力されていない	点灯	10秒間に2回点滅繰り返し	点灯
CPLT エラー 1	車両との接続確認信号に異常発生	点灯	10秒間に4回点滅繰り返し	点灯
CPLT エラー 2	車両との接続確認信号に異常発生	点灯	10秒間に5回点滅繰り返し	点灯
機器異常エラー	充電スタンド本体に異常発生	消灯	10秒間に10回点滅繰り返し	点灯

品番・鍵番号表示位置

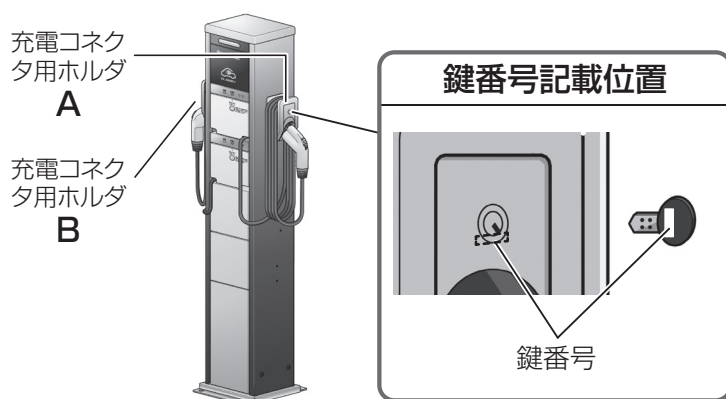
品番表示位置

●品番は、充電スタンド本体の裏面右下のラベルに記載しています。

鍵番号の記入

●鍵紛失時に備えるため、鍵番号を記入してください。
鍵番号は、アルファベットと数字の6桁です。

	鍵番号
充電コネクタ用ホルダA	
充電コネクタ用ホルダB	

●鍵番号は、充電コネクタ用ホルダの鍵穴部と鍵に記載しています。

仕様

充電スタンド本体

品番	DNE3000	DNE3300
充電ケーブルユニット（付属品）	AC200V　50/60Hz 20A×1ユニット	AC200V　50/60Hz 20A×2ユニット
漏電ブレーカ（付属品）	BJS3022N（当社製）×1個 定格電流30A　感度電流15mA	BJS3022N（当社製）×2個 定格電流30A　感度電流15mA
質量	約43kg（取付ベース込み）	約48kg（取付ベース込み）
定格消費電力	5W以下（車両充電容量を除く）	10W以下（車両充電容量を除く）
使用温度範囲	-25℃～+40℃	
寸法（突起部含まず）	幅280mm×奥行230mm×高さ1500mm（取付ベース高さを含む）	
防水防塵	IP44相当（充電用コネクタを充電コネクタ用ホルダに収納した状態）	
充電ケーブル長	約7m	
設置方法	ベースプレート方式	
設置場所	屋内・屋外（日本国内に限る）	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。
▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電　話　(　　)　ー
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは
「故障かな?」(20ページ)でご確認のあと、直らないときは、漏電ブレーカを「切」にしてお買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	EV･PHEV充電用 充電スタンド ELSEEV（エルシーヴ） パブリックエリア向け　Mode3（モードスリー）
●品　　番	品番表示位置は、22ページをご覧ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、施工説明書、取扱説明書の記載内容に従って、お買い上げの販売店･工事店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが販売店･工事店にご相談ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断･修理･調整･点検などの費用
出張料	技術者を派遣する費用
部品代	部品および補助材料代

＊ 補修用性能部品の保有期間　5年
補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、以下の**お客様ご相談窓口**にご相談ください。

アフターサービス　パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

●使いかた・お買い物などのご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック **お客様ご相談センター**　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「990＃」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturday/Sundays/nationalholidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理・部品などのご相談は

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ **修理ご相談窓口**

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話･PHS･IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401㊫　名古屋☎052-551-7900㊫
東京☎03-5392-7190㊫　福岡☎092-622-0531㊫
※㊫印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■本資料の記載内容は、平成 25 年 4 月 現在のものです。
■製品改良のため、仕様･外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

DNE3000-T12
DC0112-2043